



# 2020年3月期 決算説明資料

2020年5月

証券コード：6741

 日本信号株式会社  
NIPPON SIGNAL CO., LTD.

# はじめに

---

このたびの新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げます。また、罹患された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

当社グループは、社会インフラを担う企業として、感染防止に努めた働き方を推進し、事業継続に努めてまいりました。今後は新しい生活様式が定着し、社会インフラシステムのニーズも大きく変化することが考えられますが、ステークホルダーの皆さまとともに、引き続き社会的課題の解決に取り組んでまいりたいと存じます。

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であり、現時点では未定とさせていただきます。今後、業績予想が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

# 決算ハイライト

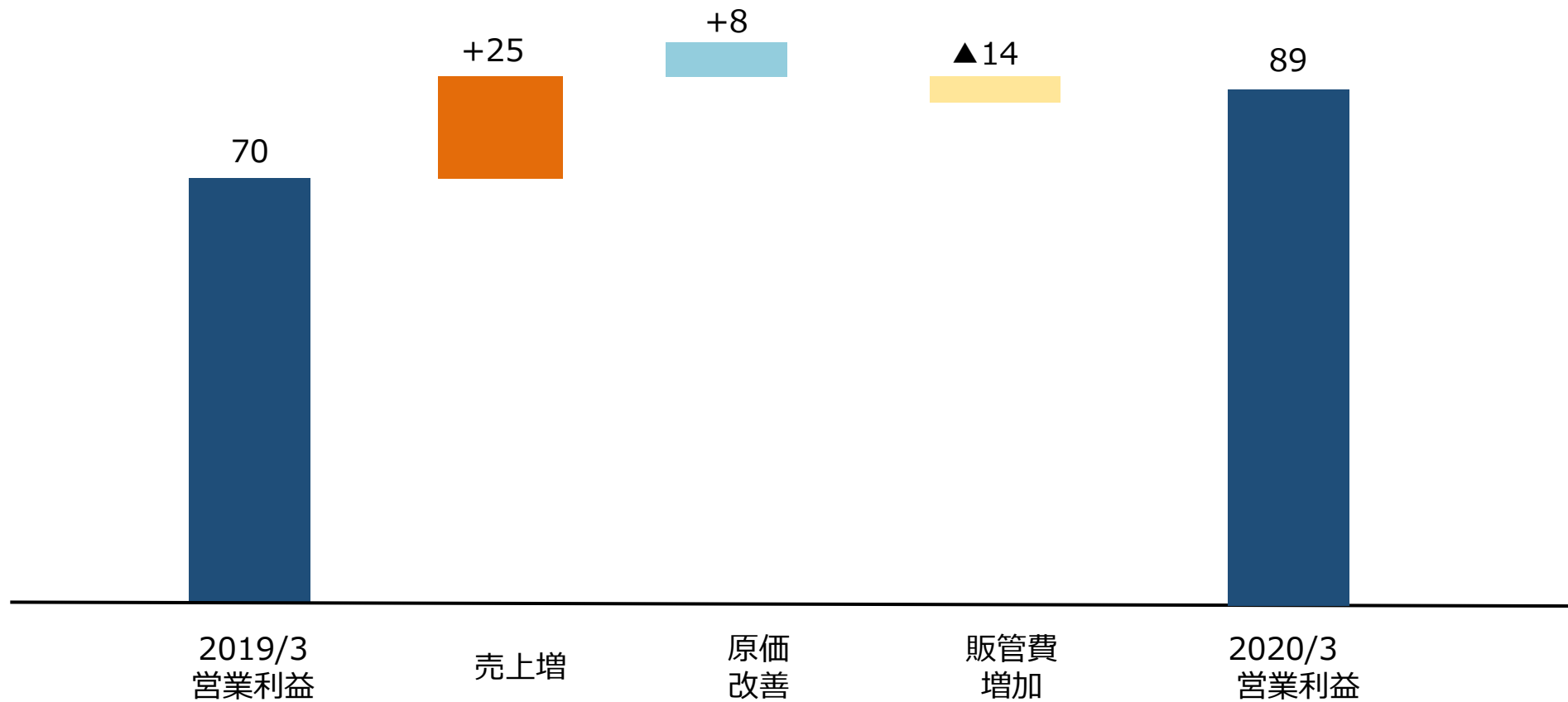
- 2年連続の増収増益となり、売上高・利益とも過去最高になった。

(単位：億円)	2019/3	2020/3			
	実績	実績	前期比	公表値	公表値との差
売上高	998	<b>1,116</b>	+118	1,050	+66
営業利益	70	<b>89</b>	+19	75	+14
経常利益	79	<b>96</b>	+17	85	+11
親会社株主に帰属 する当社純利益	53	<b>65</b>	+12	57	+8

# 決算ハイライト

## ■ 売上高の増加と原価率の改善により営業利益増加

(単位：億円)



# セグメント別①売上高・セグメント利益

- 2つのセグメントとも売上高が増加。
- ICTソリューション事業のセグメント利益が大幅に増加。

(単位：億円)	2019/3		2020/3		前期比		公表値		公表値との差	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
交通運輸 インフラ事業	521	63	<b>559</b>	<b>62</b>	+37	▲1	550	64	+9	▲1
ICTソリューション 事業	476	39	<b>557</b>	<b>62</b>	+80	+23	500	46	+57	+16
全社費用	-	▲32	-	▲35	-	▲2	-	▲35	-	▲0
合計	998	70	<b>1,116</b>	<b>89</b>	+118	+19	1,050	75	+66	+14

# セグメント別②受注高・受注残高

(単位：億円)	2019/3			2020/3			前期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄 道 信 号	494	442	411	<b>553</b>	<b>483</b>	<b>481</b>	+58	+40	+70
スマートモビリティ	82	79	6	<b>74</b>	<b>76</b>	<b>4</b>	▲8	▲2	▲2
交 通 運 輸 イ ン フ ラ 事 業	576	521	417	<b>627</b>	<b>559</b>	<b>486</b>	+50	+37	+68
A F C	387	295	227	<b>361</b>	<b>358</b>	<b>229</b>	▲26	+62	+1
ス マ ー ト シ テ ィ	168	181	22	<b>196</b>	<b>198</b>	<b>21</b>	+27	+17	▲0
ICTソリューション 事 業	556	476	249	<b>558</b>	<b>557</b>	<b>250</b>	+1	+80	+1
合 計	1,133	998	667	<b>1,186</b>	<b>1,116</b>	<b>736</b>	+52	+118	+69

**鉄道信号** 海外での売上増、国内においてもATCなどの各種信号保安装置の受注・売上が増加。

**スマートモビリティ** 発動発電機の受注、売上などがあったが、警察市場の受注・売上が減少。

**AFC** ホームドアがけん引し、消費税対応も加わり売上増加。

**スマートシティ** セキュリティ市場における売上が増加したが、駐車場関連が減少。

# セグメント別③海外事業の売上

(単位：億円)	2019/3			2020/3			前期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄道信号	494	442	411	<b>553</b>	<b>483</b>	<b>481</b>	+58	+40	+70
鉄道信号のうち海外	153	91	257	<b>64</b>	<b>102</b>	<b>220</b>	▲89	+10	▲37
A F C	387	295	227	<b>361</b>	<b>358</b>	<b>229</b>	▲26	+62	+1
A F Cのうち海外	43	16	75	<b>5</b>	<b>23</b>	<b>56</b>	▲38	+7	▲19
海外合計	196	107	333	<b>70</b>	<b>126</b>	<b>277</b>	▲126	+18	▲56

## 海外全体

台湾、タイ、インド等の案件により売上増。

## 海外鉄道信号

台湾鐵路管理局から各種信号装置の保守・更新を受注したほか、台湾交通部鉄道局より台湾・嘉義市街高速鉄道高架化計画電子連動システム工事を受注。

## 海外AFC

インド、ベトナム、バングラデシュなどのアジア諸国から駅務システムの売上。

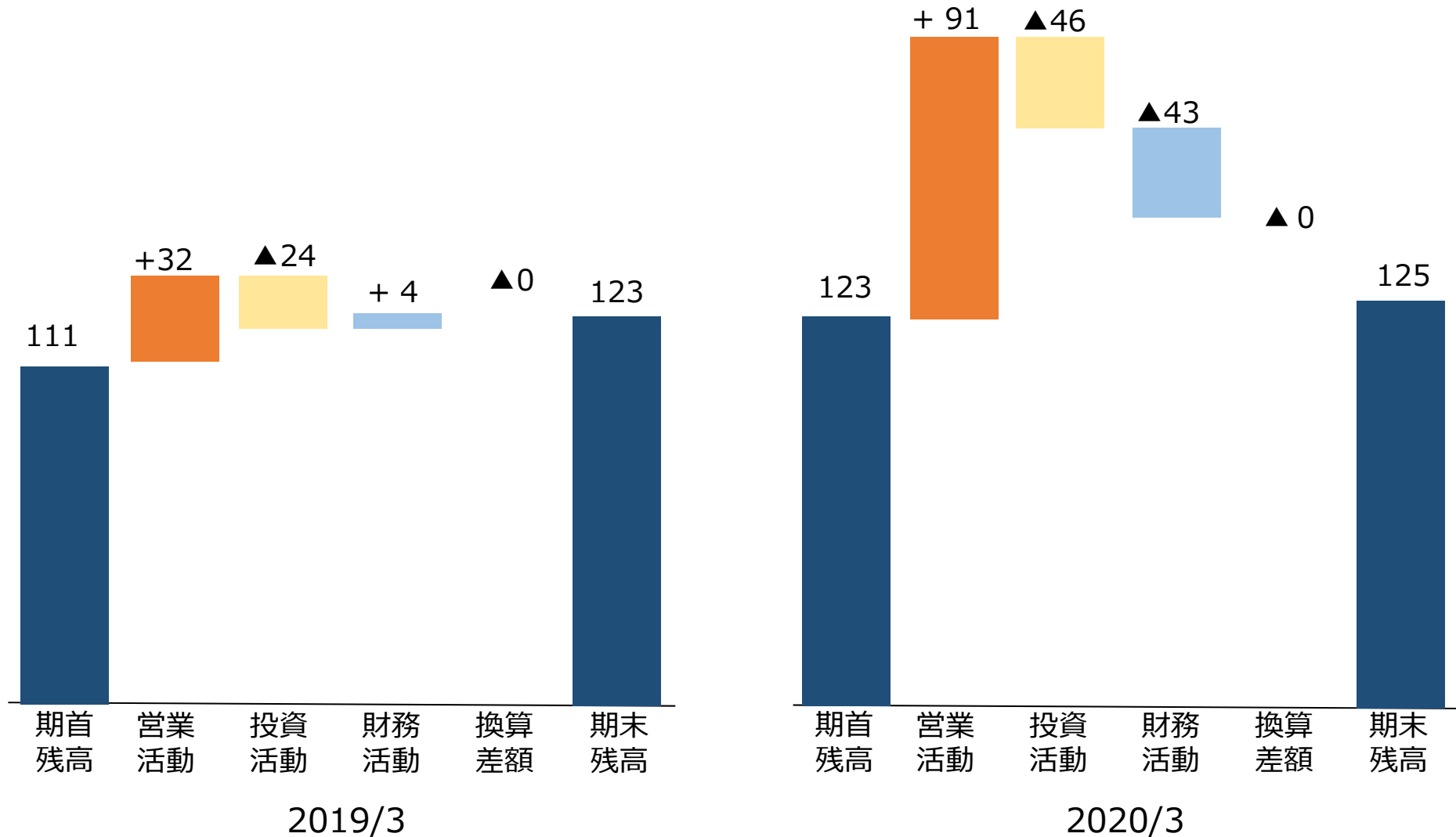
# 財政状況

(単位：億円)	2019/3	2020/3	
		実績	前期比
総 資 産	1,376	<b>1,379</b>	+3
売上債権・棚卸合計	762	<b>779</b>	+16
有利子負債	123	<b>130</b>	+7
自己資本	821	<b>796</b>	▲24
売上債権・棚卸比率	55.4%	<b>56.5%</b>	+1.1pt
有利子負債比率	8.9%	<b>9.5%</b>	+0.6pt
自己資本比率	59.7%	<b>57.7%</b>	▲2.0pt



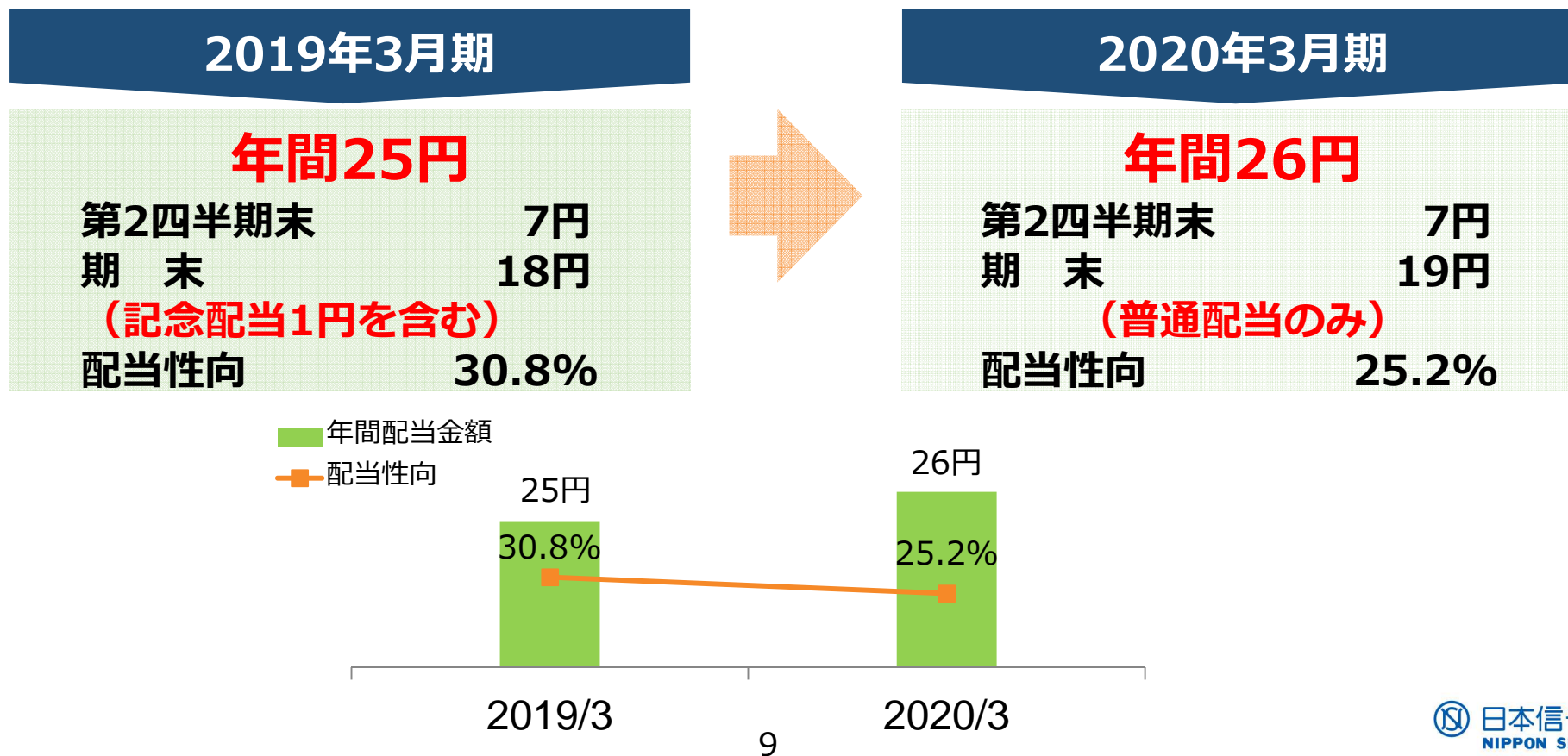
# キャッシュフロー計算書

■ 売上高の増加により営業キャッシュフローは91億円増加。



# 利益還元（配当金）について

- 配当につきましては、長期的視野に立った安定的な収益構造と経営基盤の確立、並びに財務体質の強化を目指し、研究開発投資、生産体制の整備、人材育成等を図るとともに、株主の皆さまに対しましては、安定的かつ業績に応じた配当をさせていただくことを基本方針とし、連結配当性向30%前後を当面の目標と定めています。
- 本方針のもと期末配当につきましては、1円増配の1株当たり19円としております。これにより先に実施した中間配当7円とあわせて年間配当は1株当たり26円となり、前期比1円増配となっております。



## 利益還元（自己株式取得）について

- 当社は、株主様への利益還元強化と資本効率向上を図るため、年間の総還元性向100%を上限とし、日信電子サービスの完全子会社化に際して新株発行した約600万株を取得総数として実施してまいりました。前回実施時（2016年12月～5月）に取得した株数（289万株）を勘案し、今回は残りの300万株を上限とし、実施してまいりました。

- (1) 取得した株式の総数 2,916,300株（取得率97.2%）
- (2) 株式の取得価格の総額 3,499,991,008円（99.9%）
- (3) 取得期間 2019年5月8日～2020年3月16日

- 本件の結果、2020年3月末日時点での保有株数において第1位となり、**今期の総還元性向は77.8%**となりました。

項目	前回	今回	合計
取得株式の総数	289万株 300万株(上限)	291万株 300万株(上限)	580万株 600万株(上限)
取得株式の総額	(実績)29.9億円 (上限)30億円	(実績)34.9億円 (上限)35億円	(実績)64.9億円 (上限)65億円
取得期間	2016年12月21日 ～2017年6月30日	2019年5月8日 ～2020年3月16日	



## 参考情報

社名	日本信号株式会社 NIPPON SIGNAL CO., LTD.	資本金	100億円
所在地	〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階	代表者	代表取締役社長 塚本 英彦
設立	1928年（昭和3年）12月27日	従業員 ※20/3現在	単体：1,232名 連結：2,926名

## 注意事項

業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。